

米国 JET 記念高校生招へい事業の実施 東日本大震災で亡くなった JET 青年の遺志をついで

東日本大震災で一命を落とした2人のアメリカ人 JET（外国人指導助手）—テイラー・アンダーソンさん（石巻市・バージニア州出身）とモンゴメリー・ディクソンさん（陸前高田市・アラスカ州出身。2009年度国際交流基金の全国 JET 日本語教授法研修修了者）—が愛した日本。その文化と日本語をアメリカで学んでいる高校生32人が来日し、2人の勤務していた石巻市と陸前高田市を訪問します。

このプログラムは、亡くなった2人の業績を讃えるとともに、将来日米の架け橋となるアメリカ人の若者を育成するために、ジャパンファウンデーションが外務省の協力を得て、5年間継続して実施するもので、今年は平成23年度に引き続き2回目の実施となります。

- 期間：2012年7月11日（水）～7月25日（水）の15日間
（うち、7月13日（金）～17日（火）は石巻市と陸前高田市）

国際交流基金関西国際センター（大阪）での日本語研修を軸に、お2人が亡くなられた石巻市と陸前高田市を訪問し、高校生・JET 関係者等との交流を行います。



- 協力機関：

訪日研修のプログラム準備にあたっては、お2人のご遺族、アンディ・アンダーソン氏、シェリー・フレドリクソン氏をはじめ、お2人に縁のある個人・機関から多大なご協力をいただいています（以下、協力機関。五十音順）

〈写真は昨年実施の様子〉

石巻市：石巻市社会福祉協議会、宮城県国際経済・交流課、Kiwi club

陸前高田市：NPO 法人陸前高田市支援連絡協議会 Aid TAKATA、陸前高田市教育委員会

その他：一般財団法人東北多文化アカデミー、大阪府立泉北高等学校、米国大使館、駐大阪・神戸米国総領事館、関西アメリカンセンター、The U. S. -Japan Council

**TOMO
DACHI**

昨年の実施状況については

<http://www.jfkc.jp/ja/news/2011/08/2011jet.html> でご覧いただけます。

お問い合わせ | 国際交流基金関西国際センター

担当：日本語事業運営部教育事業チーム長 村田曉彦、西岡麻記子

電話：072-490-2601 E-mail: jpf-kansai@jpf.go.jp